



2017年12月20日
富士機械製造株式会社

第47回インターネフコン ジャパン出展機の紹介

～FUJI オートインサーター「sFAB-a」、部品自動倉庫「sTower II」を出展～

富士機械製造株式会社(本社：愛知県知立市、代表取締役社長：曾我 信之、以下 FUJI)は、FUJI オートインサーター「sFAB-a (エスファブ・アルファ)」、部品自動倉庫「sTower II (エスタワー・ツー)」、を第47回インターネフコン ジャパンに展示いたします。

■背景

様々な製品に内蔵される電子回路基板、表面実装部品が主流となる中、リード部品で構成される基板も少なくありません。FUJI は基板製造におけるリード部品の挿入工程を効率化するため、高速挿入と汎用性を両立した FUJI オートインサーター「sFAB-a」を開発しました。

また、生産に必要な部品を早く確実に準備することは、無駄なく効率的な生産を行う上で重要です。これら部品管理や部品準備作業の負荷を軽減するタワー型自動部品倉庫「sTower II」を開発しました。

■FUJI オートインサーター「sFAB-a」(参考出品)の特長

ラジアル部品、アキシシャル部品、ジャンパー線を1台で高速で挿入。各専用挿入機分を「sFAB-a」に集約することで、基板搬送時間の削減や工場フロアの省スペース化ができ、単位面積当たりの生産性が大幅に向上します。また、好評の sFAB-D と組み合わせ、異形、大型部品の挿入も含めた、挿入工程全体の効率化を実現します。

搭載可能部品種数 20 種、スループット (ラジアル部品：6000CPH アキシシャル部品、ジャンパー線：8000CPH) リリース予定時期 2018年4月

■部品自動倉庫「sTower II」の特長

ワークオーダーに基づいて、必要な部品を自動で払い出し、部品のピックアップ作業や管理の負荷を軽減します。さらに、収納するリール内の部品個数を把握し先入れ先出し管理を徹底、無駄な仕掛かり部品を削減します。また、オプションで温度、湿度管理も可能です。スリムなタワー型デザインはラインサイドの運用に最適。収納部品数、設置スペースに応じて、「sTower II」シリーズの3モデルを用意しました。 リリース予定時期 2018年4月

■会社概要

商号 : 富士機械製造株式会社
代表者 : 代表取締役社長 曾我 信之
所在地 : 〒472-8686 愛知県知立市山町茶碓山 19
設立 : 1959年4月
事業内容 : 電子部品組立機ならびに工作機械の製造、販売
資本金 : 5,878百万円
URL : <http://www.fuji.co.jp/>

■本件に関するお問合せ

ロボットソリューション事業本部 営業技術部 今井 美津男 TEL 0566-81-8263